

# 平成 31 年度 最終報告書 (2019 年 4 月～2020 年 3 月)

理事長 戸田栄造

1. 事業名称 家庭用廃食油回収による地域活性化事業
2. 実施期間 2019 年4月1日から 2020 年3月31日まで
3. 実施主体
  - 団体名: NPO法人松戸エコマネー「アウル」の会
  - 事業担当課: 環境政策課・商工振興課

## 4 事業を実施する上での役割分担

「アウル」の会の役割

- 1) 家庭用廃食油回収拠点・協賛店の新規獲得
  - 2) 既存の回収拠点・協賛店の巡回
  - 3) ボランティア団体の新規獲得スクールガード、環境美化、まちづくり等のボランティア団体の参加を呼掛ける。

担当課の役割

- 1) 環境政策課  
廃食油回収システムの PR を図り、松戸市全域にこの運動を拡大させて多くの市民の参加を呼びかける。松戸市として、周期的な広報活動を推進する。
- 2) 商工振興課  
商店会に本事業の趣旨を理解していただき、回収拠点やアウル通貨の使用が出来る協賛店への参加促進を、バックアップする。

## 5 事業活動内容

担当する回収拠点、協賛店を最低 1 回/月巡回して、回収量の把握、回収用具の点検アウル券の追加配布等を実施した。ここでは主要事項のみを記載する。

- ① 回収担当会社の変更  
30 年 4 月に (株) BDF 社に変更になったが、順調に回収作業は実施された。
- ② 平成 31 年度 松戸市との協働事業 150 千円が決定された。(最終年度)
- ③ 第 16 回 定期総会の開催 (令和元年 7 月 14 日) 松戸市民劇場 第三会議室  
各議案は承認された。
- ④ 「ありがとう交流会」の開催  
総会に引き続き開催し、はたや商店 石井啓二社長の講演のほか、多くの会員から意見を頂いた。(J:COM で放映された。)

- ⑤ 「松戸市消費生活展」(くらしフェスタ)に出展  
令和元年 10 月 5 日～6 日 会場 市民会館 301 会議室
- ⑥ 地区社協主催「ふれあい広場」に出展  
令和元年 11 月 24 日 小金原会場 小金原体育館  
令和元年 11 月 30 日 五香松飛台会場 市立四中体育館
- ⑦ 100L 達成感謝状の贈呈  
(有) 八矢庵 令和元年 6 月 (株) 丸協 令和元年 9 月  
(株) ミヤマ建設 令和元年 11 月  
これで 12 回収拠点になりました。
- ⑧ 新規回収拠点のスタート  
加藤ぶどう園 (松戸市金ヶ作 336-2) 令和元年 7 月  
(株) 元気の平和堂 (柏市大山台 1-17) 令和元年 7 月  
(社福) 根木内福社会 リバーサイド・ヴィラ 令和元年 11 月
- ⑨ 会報「ありがとう」の発行  
会報 34 号、35 号、36 号の発行
- ⑩ 三つおれパンフの発行  
添付資料参照

## 6 事業の成果ほか

- ① 回収拠点別廃食油回収実績 (2019 年 4 月～2020 年 2 月)  
別紙参照 (平成 31 年度回収拠点別廃食油回収集計表)
- ② 回収拠点、協賛店でのアウル券の配布と利用状況 (2019 年 4 月～2020 年 2 月)  
別紙参照 (回収拠点、協賛店でのアウル券の配布と利用状況)
- ③ 食油回収量の増加  
2019 年 4 月～2020 年 2 月回収量 3715.5L  
前年度 3397L  
前年比 318.5L の増加で 増加比率 109%
- ④ 新規回収拠点  
加藤ぶどう園 (松戸市金が作 336-2) 令和元年 7 月より  
(株) 元気の平和堂 リサイクルモール みつけ (柏市大山台 1-17)  
令和元年 7 月より  
(社福) 根木内福社会 リバーサイド・ヴィラ (松戸市根木内 161)  
令和元年 11 月より

⑤ 峰月 2020年2月末で回収拠点をやめる

人手不足から、本業と廃食油回収の作業を両立できないとのこと  
戸田理事長の翻意のお願いも届かなかった。  
但し、協賛店としての活動は継続である。

7 今後の事業展開について

アウルの会としてこの活動の意義等をあらゆる機会をとらえてPRすることが  
最も重要である。さらに回収拠点、協賛店の協力を得る努力が必要である。

① 新しい回収拠点、協賛店のPR

特に2月末で回収拠点をやめる「峰月」利用者へ別の回収拠点を利用してもら  
うPRを行う必要がある。

② アウル券の活用・循環システムのPR

配布率が平均30%であるが、回収拠点のこのシステムへの共感、熱意向上  
と一般利用者へのPR（松戸市の協力を強く要請する。広報まつどへのPR等）

③ 「アウルの会」の若返り

以上

